

一町のインバウンド観光の状況について

TALK INTERVIEW

観光事業で交流人口を増やしていき、地域の活性化につなげていく

国では平成28年を「東北観光復興元年」と位置付け、大々的にプロモーションを行っています。「日本の東北」は世界的に見ると認知度が低く、どこに平泉があるのか、どんな美味しいものがあるのかわからないため、世界、特にアジア地域に向けて情報発信する必要があります。

町内の受入環境についても、まだ十分とは言えません。免税店、クレジット決済ができ

る店は町内に1店舗しかないことから、商工会と連携して今後強化を図っていきます。インバウンド観光については、町内だけでなく、広域的な取り組みが重要なため、一関市や奥州市などと協力して、外国人旅行者の満足度を高めていきます。

人口減少や高齢化が進んでいるため、観光事業により交流人口を増やしていき、地域の活性化につなげていきます。



平泉町観光商工課 稲葉 幸子 課長

今後のインバウンド観光施策

訪日外国人旅行者に、世界遺産と美しい景観を持つ平泉での観光を十分に楽しんでもらうため、引き続きインバウンド観光施策を強化していきます。

■町内誘導板・説明板等整備事業

台湾や中国、タイやヨーロッパなどさまざまな言語圏からの観光客が増加していることから、QR Translator を活用した誘導板・説明板などの整備を図ります。

※QR Translator とは、QR コードを読み取るだけで、多言語に翻訳した Web ページへ容易にアクセスできるシステムのこと。

■観光案内所機能強化事業

平泉の観光案内所に英語や中国語に対応できる職員をさらに配置します。当町のみならず県内・東北の観光情報の提供や観光案内を行っています。

■外国人観光客誘致支援事業補助金

旅行会社やバス会社などが、外国人旅行者を対象に、当町への誘致活動を行い、当該旅行が実施された場合、旅行会社などに誘致支援助成金を助成します。

■外国人観光客受入態勢整備

外国人旅行者向け消費税免税制度や海外カード決済導入のための講習会、導入支援などを行います。

■浄土思想多言語普及啓発映像作成

「平泉の文化」をわかりやすく映像で見せるための動画を多言語で作成します。作成後は平泉文化遺産センターに設置し活用していきます。

■海外メディア招請事業

海外からの旅行客誘致を促すため、本町での番組などを制作してもらうことを目的に、海外メディアを招請します。

「平泉の良さ」を世界のの人たちに発信しよう
インバウンド観光の事業効果は、宿泊や食事、買い物などの経済効果だけではなく、平泉の文化や伝統行事などの世界に誇れる「平泉の良さ」がたくさんあるにもかかわらず、その「良さ」は私たちがさえ十分に認識できていません。インバウンド観光は、外国人の目を通じて、私たちが気付かなかった平泉の「良さ」を改めて発見することができ、その「良さ」を伸ばしていくことで、魅力ある地域づくりへとつなげていくことができます。観光客が魅力を感じるまちは、そこに住む人たちにとって住みやすい快適なまちといえると思います。観光振興は、地域に新しい交流を生み、地域の活性化にもつながっていきます。そのためには、官民、地域、異業種・同業種の連携がとても大切です。それぞれが自分たちの役割を担い、協働による観光振興を進めることが必要となります。「平泉の良さ」を世界に発信し、平泉をより活力と魅力のあるまちにしていきましょう。

【特集】「インバウンド観光」の可能性 終わり



外国人旅行者にもやさしいまちづくりへ

訪日外国人旅行者が安心して快適に、移動・滞在・観光することができる環境を整えることで、地域を訪れた外国人旅行者の満足度が高まり、リピーターや良い評価につながります。インバウンド観光に向けて、町がこれまで取り組んできた内容を紹介します。

受入環境整備



外国語を話せるスタッフの配置

一般社団法人平泉観光協会に委託し運営している観光案内所に、外国語(英語・中国語)の対応ができる職員を配置しました。



案内板、誘導標識の外国語併記

町内の遺跡などへの案内板や紹介するための表示板に英語表記を追加するとともに、景観に配慮して看板をダークグレーに統一しています。



ホームページの多言語化

一般社団法人平泉観光協会のホームページを多言語(英語、簡体字、繁体字、韓国語、フランス語・タイ語)で見れるようにしました。



各種パンフレットの外国語併記

多言語(英語、簡体字、繁体字、韓国語、フランス語・タイ語)のパンフレットを作成し、観光案内所などで無料配布しています。

プロモーション

海外における商談会などへの参加

町では東北地方としてアジア地域をターゲットに観光PRを推進しており、時期を見計らい効果的にトップセールスを実施しています。

また東北運輸局や東北各県、関係団体で組織する東北観光推進機構が実施するインバウンド事業と連携し、台湾をはじめ香港やタイ、マレーシアなどアジア地域を中心とした見本市・展示会・商談会などにも参加しています。



平成27年12月 台湾東北感謝祭岩手ブース